

ぶんきょうくせいぶつたようせいちいきせんりやく 文京区生物多様性地域戦略

生きもの、ひと、くらしがつながり

豊かな文化を育むまち



私たちは、生物多様性から生み出される自然の恵みに支えられています。
一方で生物多様性は、人間の活動や地球環境の変化により失われつつあるため、一人一人が自分自身の問題として向き合い、新たな一歩を踏み出すことが必要となっています。
身近な緑や生きものに目を向け、自然とともに生きる豊かな社会を目指していきましょう。

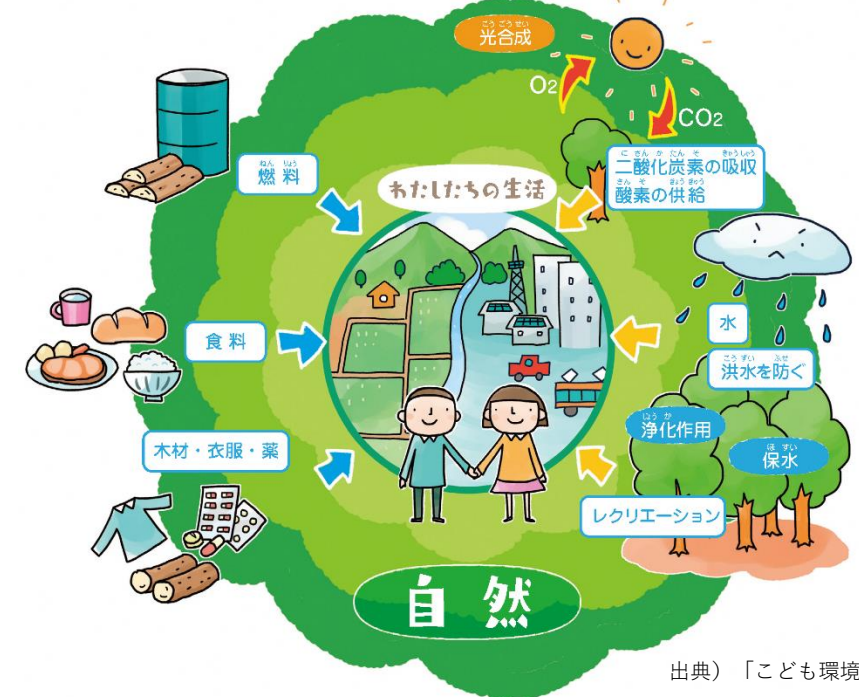
計画期間 2019年度から2028年度までの10年間



生物多様性って何だろう？

人間も含めた、たくさんの種類の生きもの全てが、複雑に関わり合って存在していることを「生物多様性」といいます。

私たちは、生物多様性から生み出されるさまざまな自然の恵みに支えられています。例えば、森は二酸化炭素を吸収し、酸素を作ります。また、森は水をきれいにしたり、水をたくわえる働きによって、洪水を防いでいます。燃料や食料、さまざまな商品の原料など、生活に必要なもの全てが、生物多様性がもたらす自然の恵みです。



生物多様性は、人間が生きていく上で絶対に欠かせないものなんだ。



出典)「こども環境白書2016」(環境省)

生物多様性に危機が迫っている！？

生物多様性が失われている原因には人間の活動も関係しており、生物多様性に関する問題は、日本だけでなく世界の環境問題となっています。生物多様性が失われると、自然の恵みも失われてしまいます。

ぼくたちの気付かないところで、生物多様性が失われているんだね。



生物多様性に関する問題を引き起こす主な原因

<p>人間活動による影響</p> <p>農業を大量に使うことや、必要以上に森の木を切ることは、生きものすみかに影響を及ぼすことがあります。</p>	<p>里山の管理不足</p> <p>里山の森林などの管理が不足しているため、そこをすみかとする生きものが減っています。</p>
<p>化学物質</p> <p>プラスチックなどの分解されにくい化学物質が、生きものに悪い影響を及ぼすことがあります。</p>	<p>外来種</p> <p>外来種が、その地域にもともといた生きものを食べたり、すみかをうばったりしています。</p>
<p>地球環境の変化</p> <p>地球温暖化などの気候の変化で、すみかを変えることが難しい生きものが絶滅の危機にさらされています。</p>	

文京区の「むかし」と「いま」

かつて、区内にはいくつかの川が流れ、水田が広がっており、ホタルやカエルなどが多く見られました。また、湧水などでしか生きられない特徴的な生きものが見られ、今でもサワガニを見ることができます。

現在は、人間社会とうまく共存できる生きものが増えたほか、人が持ち込んだ生きものも多く見られます。神社や崖などでは、まとまった緑が今も残り、木々が生い茂る場所をすみかとする生きものが見られます。



出典) 特別展図録『小石川と本郷の米物語 一商う・作る・食べる―』
(文京ふるさと歴史館)

むかし水辺で暮らしていた生きもの



ゲンジボタル



ニホンアカガエル



サワガニ

※今も暮らしています

文京区の調査で確認された動物・植物は1,000種以上※

※平成29年度現地8か所の動植物調査結果



マルゴミグモ

ハクセキレイ

ウラナミシジミ

クロアゲハ

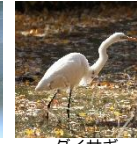
スタジイ



ドクダミ



ジョウウグモ



タイサギ



ツマグロヒヨウモン



ヨコフカニグモ



モンシロチョウ



キシバト



シグモ



メシロ



ヤツデ

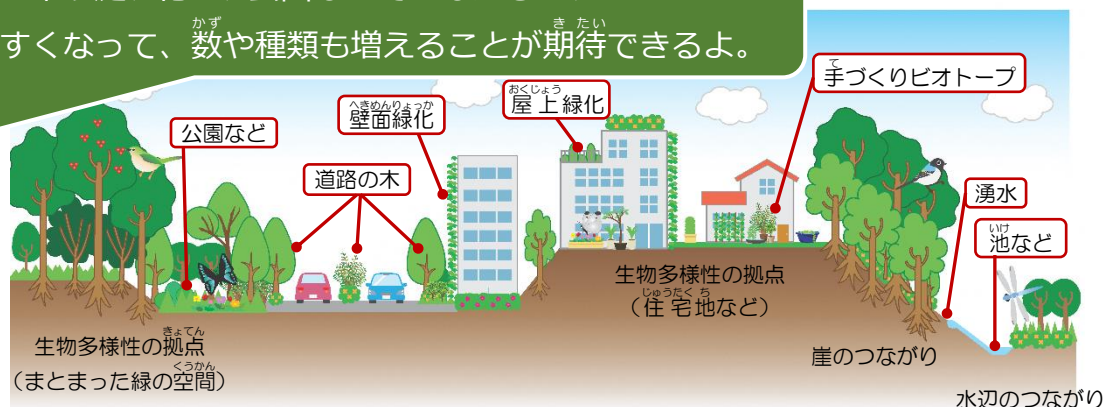


多種多様な生きものが、それぞれの特徴に合わせた場所で暮らしているよ。

緑と緑の「つながり」が大切

文京区を、さらに生きものたちの暮らしやすい環境にしていくために、何ができるでしょうか。今ある緑と緑をつなぎ、生きものが自由に移動できる環境をつくるのが大切です。

大きな緑が道路の木や庭、花壇、公園などでつながると、生きものたちの行き来がしやすくなって、数や種類も増えることが期待できるよ。



<緑と緑の「つながり」のイメージ>

生きもの、ひと、くらしがつながり 豊かな文化を育むまち

生きものとひとのくらしがつながり、新たな歴史と文化を紡ぐまち

多様な生きもの、水、みどりとともに豊かに発展するまち

生物多様性の拠点

「歴史・文化に培われた緑」



東京大学大学院理学系研究科附属植物園 (小石川植物園)
小石川後楽園
六義園

「身近な緑」



ナミアゲハ



ジャコウアゲハ 本土亜種

「公共施設などの緑」



関口台公園

本郷給水所公苑

「開発で創られた緑」



トヨタ自動車 東京本社ビル



コゲラ



ヒダリマキマイマイ

大きな木が生い茂る場所が暮らしやすい

幼虫は決まった植物の葉しか食べないから、植物を植えるときに気を配ってくれるとうれしい

1年中水温が同じ、湧水でしか暮らせないよ



サワガニ

緑と緑のつながり

「崖のつながり」



須藤公園

肥後細川庭園

と湧水



神田川

「生物多様性の拠点をつなぐ軸」



播磨坂さくら並木



特別区道文第897号



モツゴ



カルガモ

緑がつながると移動がしやすくなるね



シジュウカラ

水辺がつながると仲間がもっと増えるかも



オオシオカラトンボ

凡例	
	生物多様性の拠点 (まとまった緑の空間)
	生物多様性の拠点 (住宅地など)
	樹林地
	公園・寺・神社
	緑の多い学校など
	緑と緑のつながり
	崖のつながり
	水辺のつながり
	生物多様性の拠点をつなぐ軸
	生物多様性めぐりの道 ※1
	都市公園 (区立)
	保護樹木など
	湧水
	水辺
	40m
	0m
	崖
	行政界

保護樹木など



本郷の大クスノキ

使用データ
国土地理院基礎地図情報
マルチバンド航空写真 (2009年10月・11月撮影/株式会社国際航業)
平成23年度土地利用現況 (東京都都市計画基礎調査)



参考資料) 「文京区都市マスタープラン (平成23年3月)」 「文京区緑の基本計画 (平成11年3月)」
※1 「生物多様性めぐりの道」は、崖の緑や湧水、身近な緑などに触れながら、生物多様性の拠点となっている緑をめぐるコースです。

どんな生きものに出会えるかな！？ ～生きものマメ知識～

文京区では、崖や湧水、歴史ある寺・神社や庭園、緑の多い住宅地などの環境にうまく適応した生きものたちが暮らしています。身の回りにも、よく目を凝らすと多くの生きものが見つかるはずです。ぜひ、探して観察してみてください。

区内では湧水でしか見られない生きものもいるよ！

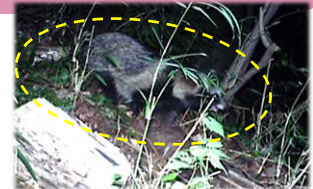
崖から湧き出す湧水には、「サワガニ」が暮らしています。湧水は1年を通じて水温が一定であるため、夏の暑さが苦手なサワガニでも暮らすことができ、崖のすき間は絶好の隠れ場所になっています。



サワガニ

大きな木が生い茂る緑には、体の大きな生きものも暮らしているよ！

大きな木が生い茂る緑には、タヌキも暮らしています。区内には「狸坂」という地名もあり、古くからタヌキたちが暮らし続けていることがわかります。



タヌキ

公園などでは、植えられている植物によって見られるチョウが違うよ！

チョウは、蜜を吸うために色々な花に集まりますが、幼虫は、決まった種類の植物しか食べません。例えばアオスジアゲハの幼虫は、公園や寺・神社によく植えられているクスノキの葉を食べて育つので、まちなかでもよく見ることができます。



アオスジアゲハ (成虫)



アオスジアゲハ (幼虫)

観察するときは、生きものたちを驚かせないように、そっと見守ってね！

水辺では、さまざまな鳥を見ることができるよ！

公園の大きな池や神田川に暮らしているカワセミは、瑠璃色に輝く飛ぶ宝石と言われていいます。運がよければ水中にダイブして魚を獲る所が見られるかもしれません。



カワセミ



私たちの暮らしのすぐそばにも、さまざまな生きものが暮らしているよ！

むかしと変わらず私たちの身近なところで暮らす生きものの一つに、ニホンヤモリがいます。作物や人間に、危害を与えるような小さな虫を食べてくれることから、「家守」という名前がついています。



ニホンヤモリ

生物多様性を豊かにするために、文京区が取り組むこと



● 生物多様性を身近に感じることができるよう、情報発信していくよ。

生物多様性に対する理解・浸透

自然や生きものと触れ合う機会づくり



文京区にいる生きもの
の情報発信



● 生物多様性にやさしい生活や仕事について、情報発信していくよ。

生物多様性にやさしい仕事に関する情報発信



環境にやさしい管理をしている森や海で作られたものを使うようにしましょう。

エコラベルなど生物多様性にやさしい商品の紹介



※エコラベルなどは一例です。
出典) エコラベルなどは「生物多様性民間参画ガイドライン(第2版)」(環境省)より引用



● 公園や住宅などの身近な生物多様性が豊かになる取組をしていくよ。
● 生物多様性が豊かなまちづくりをしていくよ。

生物多様性にやさしい公園づくり

住宅・事業所などに身近な緑をつくる取組

緑を植えるためのガイドブックの作成



肥後細川庭園にある看板



生物多様性を豊かにするためにみんなができること

生物多様性を守り、伝え、そして新しく創り出していくために、みなさんにもできることがあります。自分がチャレンジする項目を友達や家族とシェアし、一緒にチャレンジしてください！

チャレンジ1 文京区の歴史や文化に親しみながら、生きものと触れ合おう！



区内にある庭園や寺・神社などは、古くからの緑が生い茂り、多くの生きものがあります。『親子生きもの調査』や『親子環境教室』、『自然観察会』など、自然や生きものを観察できるイベントに参加してみましょう。

チャレンジ2 いのちを大切にし、自然の恵みに感謝しよう！



私たちの食生活は、多くの生きもののいのちから成り立っています。食べものは食べられる量だけ盛りつけ、好き嫌いなく、残さず食べましょう。

チャレンジ3 エコラベルなどの環境にやさしい商品を選ぼう！

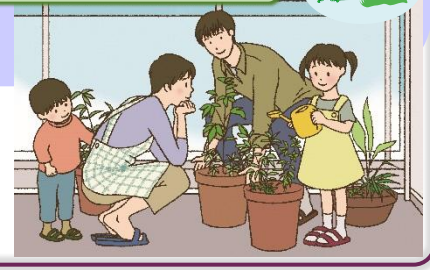


環境や社会にやさしい方法で作られたと認められた商品にはエコラベルが付いています。エコラベルなどの環境にやさしい商品を選びましょう。

※エコラベルなどは一例です。
出典) エコラベルなどは「生物多様性民間参画ガイドライン(第2版)」(環境省)より引用

チャレンジ4 手づくりビオトープをつくろう！

チョウが好きな植物を植えると、チョウがやってくるよ！



マンションのベランダや住宅の庭で、花壇やプランターなどを使って多くの生きものが利用できる空間(手づくりビオトープ)をつくっていきましょう！



平成31年3月発行
文京区資源環境部環境政策課
〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21
TEL 03-3812-7111 (代表)
ホームページURL <https://www.city.bunkyo.lg.jp/>